



屏風ヶ浦を見学した後に 復習してみよう！

1 ()の中に言葉をいれたり、正しい言葉を選んだりしましょう。

① 陸地は長い年月の間に、流れる水によってしん食されて変化していく。しん食された土地は土砂となって、流れる水によって運ばんされ、石は角がとれて丸くなり、最後は海底に広がりをもってたい積して新たな()を作っていく。

② 地層は、下ほど(新しく・古く)、上ほど(新しい・古い)。

③ 屏風ヶ浦の地層は、下の地層はおおよそ()万年前から100万年前、上の地層はおおよそ()万年前に海の中たい積して作られた。



④ 屏風ヶ浦の地層は、下から水の流れによって運ばれてきた土砂が(浅い・深い)海で積もってできた地層、(浅い・深い)海で積もってできた地層、()や「ちり」が陸上で積もってできた関東ローム層に分けられる。

⑤ 地層はふつうとてもゆっくりたい積する。屏風ヶ浦で観察した地層は、約20mの地層がたい積するのに、約()万年の時間がかかっている。



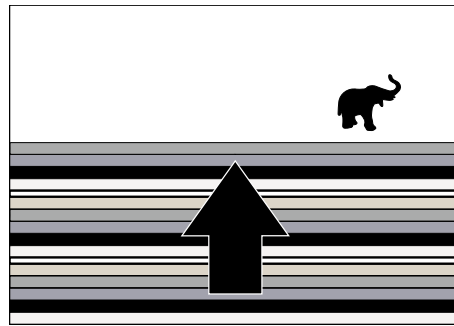
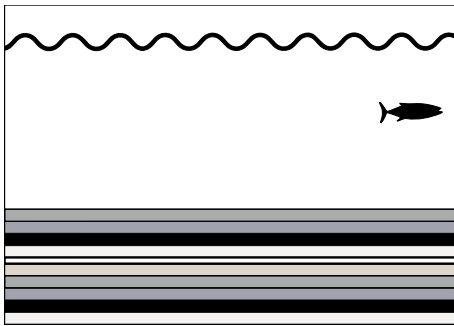
⑥ 土地に力がはたらいて、土地にずれができることがある。それを()という。非常に大きな力が加わり、大きく土地がずれた場合、()を引き起こす場合がある。





屏風ヶ浦を見学した後に 復習してみよう！

2 屏風ヶ浦では約（ ）万年間で約50m土地が押し上げられたといわれています。では、平均すると1万年間で何m土地が押し上げられたでしょうか？



答え（ ）m

3 ()の中に言葉をいれたり、正しい言葉を選びましょう。

- ① 地層をつくるつぶは、大ききで分けられる。大きい方から()、()、()とよばれる。
- ② 水中ではつぶの大きな「れき」は、(早く ・ ゆっくり)沈む。
水中ではつぶの小さな「どろ」は、(早く ・ ゆっくり)沈む。
そのため、川から海に運ばれて来た「砂」と「どろ」を比べると、(砂 ・ どろ)のほうが海岸から遠く離れた場所に運ばれ、たい積する。

地層のでき方

